

### 高齢者配食 サービスへ支援を



鈴木 聖一 議員

**Q** 奉仕の精神で活動するボランティアのたんぼの会や社協と、感謝の心を持った高齢者の双方が、長年にわたり築いた絆や信頼感が、配食サービスがなくてはならない理由であり、市民が市民を助ける共助である。市が公助という形で支援の手を差しのべる方法を検討されたい。

**Q** 大幅に見直した基本設計を新たに策定せず、市民や市議会には、どう説明するのか。  
**A** 総合評価方式の一般競争入札を予定しており、その手続きの中で要求水準書を公告して事業者を募集します。この要求水準書に、見直しにより縮小した面積、施設の機能などを記載することで示します。

**A** 市民事業仕分けを踏まえ、平成30年度末から利用者の状況把握に着手し、スムーズに移行できるよう準備を進めてきました。その結果、9月まで今までどおり委託事業として実施し、10月以降の対応は、たんぼの会、社会福祉協議会と協議しています。

**Q** 大幅な見直しの具体的な内容は。  
**A** 整備費および維持管理費を縮減するため、規模や仕様を見直しています。



さまざまな意見が出された市民事業仕分け

### 質問事項

- ◆市民事業仕分け

### ひとこと解説!

**要求水準書とは**  
必要最小限の業務の範囲、実施条件、水準を示すもので、民間事業者の創意工夫をうながし事業費の縮減やサービスの質向上が期待できます。

**Q** 今後のスケジュールは。  
**A** 技術審査会で外部有識者の意見を踏まえながら、要求水準書などの発注図書を作成します。9月または12月市議会定例会に係る予算案の提出を目指しています。発注公告も、9月または12月の予定で進めます。

**Q** 基本・実施設計ができていない段階で、設計、施工、維持管理・運営まで含んだ予算を積算することができるのか。  
**A** 積算ができるコンストラクションマネジメント会社により、基本設計から削減された面積や機能などを引き算するなどして金額を算出します。

### 地域公共交通網形成計画の策定を



辻 達広 議員



**Q** 地域公共交通網形成計画は、具体的にどのようなものか。  
**A** 地域にとつて望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープランとして地方公共団体が協議会を開催し、交通事業者などと協議して策定します。

**Q** 第2次香取市総合計画に基づく自主防災組織率の現状と今後の対策は。  
**A** 平成30年度の組織率は41%で、全国や県平均と比べ低くなっています。引き続き、啓発により組織率の向上に努めます。

**Q** 公共交通の課題について、市の見解は。  
**A** 利用者は年々減少する一方で利用できない地域もあります。また、高齢ドライバー事故問題など、自家用車に頼らず外出できる環境が求められています。合併以前からの路線を運行する循環バスや赤字の路線バスなどを含め見直し、持続可能な公共交通体系の構築が必要と考えます。

**Q** 地域の防災リーダー育成の具体策は。  
**A** 地域で推薦をいただくとともに、令和元年度から防災士資格の取得希望者への補助金制度を創設しました。

### 家庭用火災報知器の普及啓蒙は

**Q** 家庭用火災報知器の設置状況と普及促進のための対応は。  
**A** 家庭用火災報知器の設置状況と普及促進のための対応は、消防本部によると平成30年6月現在、設置率は55%です。市では総合防災

### 質問事項

- ◆地域公共交通
- ◆自主防災組織の設立
- ◆家庭用火災報知システムの普及啓蒙

### ひとこと解説!

**自主防災組織とは**  
自主性に基づいて、地域住民が連携して防災活動を行う組織です。

マップに掲載し、設置啓発していますが、引き続き、広報かとり、市ホームページなどにより設置を呼びかけていきます。



幅広い年代の皆さんが参加した防災訓練